

様式8 (教諭)

第4学年 国語科学習指導案

1. 単元名 目的に応じて引用したり、要約したりして「暮らしの中の和と洋ブック」を作ろう
 教材名 「暮らしの中の和と洋 (東京書籍 4年下)」

2. 単元の目標

- 生活の中の「和」と「洋」の違いに関心をもち、目的に応じて要約したり引用したりして、「暮らしの中の和と洋ブック」を作ろうとすることができる。 【関心・意欲・態度】
- ◎自分の考えを効果的に表現するために、文章の必要な部分を引用したり要約したりすることができる。 【C 読むこと エ】
- 学校図書館などを利用し、知りたいことを調べるために本や資料を読み、情報を引き出すことができる。 【C 読むこと カ】
- 指示語や接続語の役割を理解し、文章を書く際に効果的に正しく用いることができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ (ク)】

3. 単元について 省略

4. 単元の評価規準

| | |
|-----------------|--|
| 国語への関心・意欲・態度 | ・生活の中の「和」と「洋」の違いに関心をもち、目的に応じて要約したり引用したりして、「暮らしの中の和と洋ブック」を作ろうとしている。 |
| 読む能力 | ・自分の考えを効果的に表現するために、文章の必要な部分を要約したり引用したりしている。 ・知りたいことを調べるためにさまざまな本や資料を読み、必要な情報を取り出している。 |
| 言語についての知識・理解・技能 | ・指示語や接続語の役割を理解し、自分で文章を書く際に効果的に正しく用いている。 |

5. 指導計画及び単元計画 (全11時間)

| 次 | 時 | 学習活動 | 主な評価規準 |
|-----|--------|---|---|
| 第1次 | 1 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> これからの学習のめあてを知ろう。 </div> ・教師の「暮らしの中の和と洋ブック」のモデルを見る。 ・単元の流れを知る。 | 【関】「暮らしの中の和と洋ブック」を作ることに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 (ノート・発言・行動観察) |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 「暮らしの中の和と洋ブック」を作るために教材文をまとまりで分けよう。 </div> ・見出しを見つけ、本文を5つのまとまりに分ける。 | 【読】大事な言葉や接続語、文末表現などに着目し、段落と段落の関係を考えながら読んでいる。 (ノート・発言) |
| 第2次 | 3 4 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「暮らしの中の和と洋ブック」を作るために和と洋の違いや良さを読もう。 </div> | 【言】段落相互の関係に注意して、指示語や接続語の役割を理解し、自分で文章を書く際に効果的に正しく用いようとしている。 |

| | | | |
|-------------|--------------------|--|--|
| | | ・和と洋について書いている部分を見つけ、違いや良さを読む。 | (ワークシート・ノート・発言) |
| | 5 6 | 引用や要約を確かなものにして「くらしの中の和と洋ブック (住編)」にまとめよう。 ・引用や要約をつかって教材文をブックにまとめる。 | 【読】 引用や要約のしかたを理解し、「くらしの中の和と洋ブック」にまとめている。 (くらしの中の和と洋ブック (住編)) |
| | 7 | 「くらしの中の和と洋ブック (住編)」を完成させよう。 ・部屋の使い方という観点から違いや良さをまとめる。 | 【読】 必要な情報を引用したり要約したりして「くらしの中の和と洋ブック」にまとめている。 (くらしの中の和と洋ブック (住編)) |
| 第 3 次 | 8 ⑨ 本時 10 | 「くらしの中の和と洋ブック」を作ろう。 ・自分が調べるテーマを決める ・和と洋について本や資料から情報をよみとる。 ・集まった情報をもとに引用したり、要約したりしてアピールカードにまとめる。 ・アピールカードをもとにブックを完成させる。 | 【読】 知りたいことを調べるためにさまざまな本や資料を読み、必要な情報を取り出している。 (情報カード・アピールカード・行動観察) 【読】 必要な情報を引用したり要約したりして「くらしの中の和と洋ブック」にまとめている。 (くらしの中の和と洋ブック) |
| | 11 | 「くらしの中の和と洋ブック」フェスティバルを開こう。 ・自分が作ったブックを使ってみんなに紹介する。 | 【関】 書いたものをみんなに紹介し、和と洋の違いや良さを伝えようとしている。 (ワークシート 行動観察) |

6. 本時の学習 (第3次 9時間目)

(1) 本時の目標

「アピールカード」を用いて、自分が選んだ和と洋の良さを友だちと確かめ合い、自分の考えを深めることができる。

【読む能力】

(2) 学習展開

| 時間 (分) | 主な学習活動と予想される児童の反応 | 教師の支援 (○) と評価 (☆) 学校司書の支援(※) 司書教諭の支援(△) |
|-----------|---|--|
| | 1. 学習課題を確認する 「アピールカード」で和と洋の良さを確かめ合おう。 | ○本時の流れを示すことで学習の見通しをもてるようにする。 ○伝え合う活動が有意義になるよう、相互評価の視点をはっきりとさせる。 |
| | 2. 「アピールカード」をもとに良さを確かめ合う。 ・この情報だと良さが一番伝わると思うよ。 ・これは使い方の違いや良さだね。 | ※自分が選んだ図書資料も準備させておくことで、調べたことをふり返ることができるようにする。 ○確認し合った後で修正できるよう、ワー |

| | | |
|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・こんな良さもあるんだね。 ・ここも良さだと思うんだけど…。 <p>3. アピールカードをもとに「くらしの中の和と洋ブック」に説明文を書く。</p> <p>4. 学習のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと良さを伝え合って、自分の選んだ情報で良さが伝えられることがわかったよ。 ・友だちが教えてくれた良さも入れたらもっと良さをアピールできそうだ。 | <p>クシートを工夫する。</p> <p>※△話し合いが停滞するグループや個別の支援を行う。</p> <p>☆「アピールカード」を用いて、自分が選んだ和と洋の良さを友だちと確かめ合い、自分の考えを深めることができる。 (アピールカード・くらしの中の和と洋ブック)</p> <p>※△書きにくい児童の考えを聞いて整理したり、引用のしかたをアドバイスしたりする。</p> <p>○書けた説明文をいくつか紹介し、価値づけをする。</p> <p>○自分の考えの深まりや変化をアピールカードに活かすよう声をかける。</p> |
|--|---|--|

(3) 本時の評価

| 十分満足できると判断される児童の姿 | 概ね満足と判断される児童の姿 | 支援を要する児童の支援の手立て |
|---|----------------------------------|------------------------------|
| 良さを伝えるためのより良い情報を友だちと確かめ合い、自分の説明文に積極的に活かそうとしている。 | 良さを伝えるための情報を友だちに伝え、説明文を書こうとしている。 | アピールカードと一緒に読み返し、伝えたい良さを確認する。 |

(4) 研究の視点

- ・アピールカードを用いて和と洋の良さを友だちと確かめ合ったことは、自分の考えを深めたり広げたりするために有効であったか。